

青森商工会議所 経営発達支援計画

令和 7 年度事業報告書

令和 8 年 6 月

令和7年度事業報告書

目 次

1. 地域の経済動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 ページ
①経営課題アンケート調査	
②中小企業景況調査	
③LOBO（早期景気観測）調査	
④地域診断サービスによる調査	
2. 需要動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 ページ
①自社店舗等での需要動向調査アンケート	
②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	
3. 経営状況の分析に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 ページ
①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析	
②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析	
③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起しと経営分析	
④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析	
4. 事業計画策定支援に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 ページ
①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定	
②巡回・窓口相談による事業計画策定	
③創業・第二創業計画策定支援	
④事業承継計画策定支援	
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9 ページ

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること・・・・・・・・・・10ページ

- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展（B to B）
- ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施（B to C）
- ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓（B to B）
- ④IT を活用した販路開拓支援の実施（B to C）

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること・・・・・・・・・・13ページ

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること・・・・・・・・・・13ページ

- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
- ②組織内での支援ノウハウの共有

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること・・・・・・・・・・14ページ

- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
- ②その他支援機関との情報交換

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること・・・・・・・・・・15ページ

- ①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業
- ②ヘルスケア・ビジネス創造事業
- ③中心市街地活性化事業
- ④株式会社まちづくり青森との連携
- ⑤青森地域7大学等との連携事業
- ⑥まちなかキャンパスの開催
- ⑦人財育成 雪花雪中塾の開講

1. 地域の経済動向調査に関すること

(1) 事業内容

①経営課題アンケート調査

地域の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握し、当所の今後の経営支援につなげていくため、年間売上及び経常利益の推移状況、直面する経営課題、経営課題に対する対応状況、当所に対する意見・要望等を調査した。

【調査対象】当所会員事業所（議員、部会幹事、小規模企業、特定商工業者等）

【調査項目】売上及び経常利益推移、直面する経営課題、当所に対する意見要望等

【調査手法】調査票を郵送及びFAXし、FAX及びWEBにより回収

【分析手法】経営指導員等が分析し、青森中央学院大学教授、竹内紀人氏から総評をいただいた。

②中小企業景況調査

中小企業の景気動向を総合的に把握することを目的に、中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施している中小企業景況調査において、当所対象企業41社による当地区内景気動向を把握した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（41社）

【調査項目】売上、資金繰り、仕入、在庫、採算、業況、従業員の状況、設備投資等

【調査手法】調査票を郵送し郵送により回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は中小企業基盤整備機構が行った。

③LOBO（早期景気観測）調査

足元の景況感や直面する経営課題などを調査するため、日本商工会議所が毎月実施しているLOBO調査において、当所対象企業5社による当地区内の景況感、経営課題等を把握した。全体の調査結果は、日本商工会議所ホームページ及び当所会報「かけはし」等で公表した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（5社）

【調査項目】景況感、経営課題等

【調査手法】調査票をFAXしFAXにより回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は日本商工会議所が行った。

④地域診断サービスによる調査

日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している事業を活用し、地域経済の動向実態を把握し、管内小規模事業者の効果的な経営活動に反映させるため、データに基づいた説得力のある情報提供とその後の事業計画策定に活用した。

【調査項目】人口推移、産業構造、地域経済循環、雇用状況等

【調査手法】国が提供するビックデータである「RESAS」を活用して地域経済の動向を調査

【分析手法】日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している事業を活用した。

(2) 成果の活用

上記調査の結果は、広く一般に周知を図るため、当所ホームページで公表するほか、当所の常議員会等各会議での説明や会報「かけはし」でも公表した。また、経営指導員等が巡回指導を行う際の参考資料とした。

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目標	①経営課題アンケート調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
	②中小企業景況調査 60 社	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回
	③LOBO（早期景気観測）調査 5 社	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回
	④地域診断サービスによる調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
結果	①経営課題アンケート調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
	②中小企業景況調査 41 社	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回
	③LOBO（早期景気観測）調査 5 社	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回
	④地域診断サービスによる調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回

2. 需要動向調査に関すること

（1）事業内容

①自社店舗等での需要動向調査アンケート

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小売・サービス事業者等を対象に、自社顧客のニーズ把握を目的に自社店頭等で需要動向アンケート調査の作成支援を行った。実施にあたっては、アンケート内容が効果的な項目・構成となるよう、また、効果的な調査時期の選定などについても支援を行った。調査後は、得られたデータから商品・サービスが自社のターゲットやニーズに即しているかを経営指導員が分析し、支援対象事業者にフィードバックした。

【調 査 手 段】店頭等での書面によるアンケート

【分 析 手 段】経営指導員が分析を行い、必要に応じてよろず支援拠点や、専門家派遣事業の販路開拓における専門家の協力を仰いだ。

【調 査 項 目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズ等

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させるとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

（実施内容）

青森商工会議所 1 階 AOMORI STARTUP CENTER において創業した事業者や、青森商工会議所会員で新規メニュー開発等を行っている飲食店のニーズ調査・販路拡大等を支援した。また、ポップアップストア（期間限定）として場所を提供し、あわせて事業計画の策定について指導した。

○支援事業者数 2 事業者（カフェ酒場 SHIRENOKI（飲食業、ナポリタン、スイーツ等販売）、Yabanhmi-ヤバインミー（飲食業、バインミー・ソフトドリンク販売））

②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

本市の地域資源を活用した食品加工業者等 5 社を対象として、購入者属性のほか、各社 1 商品の「サービス」「商品・サービス単価の高低等」について、首都圏消費者に対し、アンケート調査を実施した。

【調 査 手 段】WEB、紙によるアンケート

【分 析 手 段】経営指導員が分析し、必要に応じてよろず支援拠点や、専門家派遣事業の販路開拓における専門家の協力を仰いだ。

【調 査 項 目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズなど

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させていくとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

(実施内容)

東京ビッグサイトで開催された「ビジネスチャンス EXPO in TOKYO」及びマイドーム大阪で開催された「OSAKA ビジネスフェア」の出展ブースにおいて、展示商品についてアンケートを回収した。その後アンケート結果を事業者へフィードバックし今後の商品開発等へつなげた。

○支援事業者数 5事業者（有限会社ヤカタイーティング（飲食業）、テキスタイルスタジオ 村上（工芸品製造・小売業）、三浦醸造（食料品製造業）、株式会社プレミアムフーズ青森（飲料品製造業）、株式会社 Willow（食料品製造業））

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目標	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3 社	3 社	5 社	5 社	5 社
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3 社	3 社	5 社	5 社	5 社
結果	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3 社	3 社	2 社	2 社	2 社
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3 社	3 社	3 社	3 社	5 社

3. 経営状況の分析に関すること

(1) 事業内容

①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析

経営課題を抱える小規模事業者を対象に、『安全性』、『収益性』、『成長性』などの経営指標や経営方針・今後の事業展開に活用できるセミナーを開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し経営分析につなげた。

(セミナーの開催内容)

◇1日でわかる経理のすべて「経理入門セミナー」

日 程 令和7年5月16日（金）

場 所 青森商工会議所 7階 研修室

講 師 有限会社マスエージェント 代表取締役 林 忠史 氏

受講者数 32名

◇人が定着し、新しい人材が入ってくる「会社の魅力向上セミナー」

日 程 令和7年7月9日(水)
場 所 青森商工会議所 7階 研修室
参 加 者 12名
講 師 株式会社ライフデザインラボ 代表取締役 村山 寛樹 氏

◇SNSで集客はかどる！Instagram活用セミナー

日 程 令和8年1月28日(水)
場 所 青森商工会議所 7階 会議室
講 師 Shikama.net 代表 志鎌 真奈美 氏
受講者数 26名

◇事業計画策定セミナー(経営分析を含む)

日 程 令和7年10月9日(木)
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER
講 師 左近 裕子 氏(株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士)
受講者数 11名 ○経営分析件数 11件

◇事業に役立つ生成AI活用セミナー

日 程 令和8年2月2日(月)
場 所 青森商工会議所 7階 研修室
参 加 者 13名
講 師 平林 文晴 氏(株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士)

②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や、当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金や各種事業計画の申請に係る経営指導・支援やヒアリングを通じて、経営状況の分析が必要な小規模事業者の掘り起こしと経営分析を行った。

○小規模事業者持続化補助金申請支援時における経営分析件数 52件

○先端設備等導入計画申請支援時における経営分析件数 3件

合 計 55件

③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

日本政策金融公庫青森支店国民生活事業と共催による「日本公庫1日金融相談会(年2回)」、や「定例相談会(月2回)」等を通じて、経営課題を抱える小規模事業者の掘り起こしを行った。また、マル経融資をはじめとした金融支援時に、『収益性』、『安全性』、『成長性』の財務分析を行うことにより経営改善や今後の事業展開のための事業計画策定に活用した。

○マル経推薦時における経営分析件数 45件

④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した事業者の経営分析を行い、今後の事業計画の見直し等へつなげた。

○創業後の経営分析件数（窓口指導） 9件

（2）分析結果の活用

分析結果は、事業者へフィードバックし事業計画の策定等に活用した。また、分析結果はデータベース化し、内部共有することで、経営指導員等のスキルアップに活用した。

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目標	①-1「講習会等の開催」 開催回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	3 0 件	3 0 件	3 0 件	3 0 件	3 0 件
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	1 0 0 件	1 0 0 件	1 0 0 件	1 0 0 件	1 0 0 件
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の経営分析	2 0 件	2 0 件	2 0 件	2 0 件	2 0 件
	経営分析件数合計	1 5 5 件	1 5 5 件	1 5 5 件	1 5 5 件	1 5 5 件
結果	①-1「講習会等の開催」 開催回数	3 回	3 回	6 回	5 回	5 回
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	9 件	8 件	1 9 件	1 3 件	1 1 件
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	5 7 件	6 2 件	5 0 件	1 1 件	5 2 件
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	6 5 件	4 1 件	4 9 件	4 7 件	4 5 件
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の経営分析	1 件	2 件	4 件	2 0 件	9 件
	経営分析件数合計	1 3 2 件	1 1 3 件	1 2 2 件	9 1 件	1 1 7 件

4. 事業計画策定支援に関すること

（1）事業内容

①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定

上述の経営分析を行った事業者等を対象に「事業計画策定セミナー」を開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し事業計画の策定支援を行った。

（セミナーの開催内容）

◇事業計画策定セミナー（経営分析を含む）

日 程 セミナー 令和7年10月9日（木）

個別相談会 令和7年10月10日（金）

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 左近 裕子 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）

受講者数 11名 ○事業計画策定支援件数 11件

◇あおスタ起業塾の実施

起業関心層の掘り起こしと起業家コミュニティ形成を目的に、ワークショップを取り入れた全5回の実践型シリーズ講義を青森市と連携して実施し、ビジネスアイデアのブラッシュアップや事業計画の策定支援を行った。

〈あおスタ起業塾 2025summer〉

日 程 令和7年7月11日（金） 交流会
令和7年7月12日（土）～8月30日（土）

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 三上 恭子 氏
AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 浅野 麻里 氏
六大陸株式会社 代表取締役 野上 陸 氏
株式会社プランツプラネット 代表取締役 境 佳子 氏
生パスタ屋 Dari 店主 加藤 諒 氏
株式会社 LacuS 代表取締役 古津 瑛陸 氏
株式会社クロックアップ 代表取締役 中村 公一 氏
税理士法人つばさ会計 社員税理士 下山 貴章 氏

受講者数 16名

〈あおスタ起業塾 2026winter〉

日 程 令和8年1月16日（金） 交流会
令和8年1月17日（土）～3月7日（土）

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 三上 恭子 氏
AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 浅野 麻里 氏
AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 新岡 進也 氏
温～おん～ 代表 佐藤 愛 氏
株式会社レジステック 代表取締役 坂本 裕樹 氏
合同会社ゲンジアーキ 代表社員 古川 正敏 氏
株式会社 ORANDO PLUS 代表取締役 石山 紗希 氏
税理士法人つばさ会計 社員税理士 下山 貴章 氏
株式会社生き活き市場 代表取締役 浜田 大豊 氏

受講者数 18名

②巡回・窓口相談による事業計画策定

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金の申請相談や金融相談等を行った事業者を対象に事業計画の策定支援を行った。

○小規模事業者持続化補助金申請支援時における事業計画策定支援件数	52件
○先端設備等導入計画申請支援時における事業計画策定支援件数	3件
○金融相談の対象者に対する事業計画策定支援件数	2件
合 計	57件

③創業・第二創業計画策定支援

青森市と締結した「スタートアップの推進に関する連携協定」に基づき、当所1階に整備した「AOMORI STARTUP CENTER」において、青森市の起業・創業の専門家が中心となり、創業計画の策定支援を行った。

○創業計画策定支援件数 68件

④事業承継計画策定支援

前述の経営分析や当所の経営課題アンケート調査において事業承継に課題を抱えると回答した事業者を対象に、当所経営指導員等が事業承継計画を策定した。高度、専門的課題には青森県事業承継・引き継ぎ支援センター(21 あおもり産業総合支援センター)等と連携し対応した。

○事業承継計画策定件数 1件(支援件数 48件)

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	2回	2回	2回	2回
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	5件	5件	5件	5件
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件
	③創業・第二創業計画策定件数	26件	28件	30件	32件	34件
	④事業承継計画策定件数	3件	3件	3件	3件	3件
	事業計画策定件数	69件	71件	73件	75件	77件
	事業計画策定件数	69件	71件	73件	75件	77件
結果	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	4回	3回	3回	3回
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	3件	19件	13件	11件
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	52件 2件	62件 2件	50件 6件	11件 5件	52件 2件
	③創業・第二創業計画策定件数	10件	101件	82件	76件	68件
	④事業承継計画策定件数	3件	0件	3件	3件	1件
	事業計画策定件数	72件	168件	160件	108件	134件
	事業計画策定件数	72件	168件	160件	108件	134件

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 事業内容

これまで事業計画を策定した事業者のうち、セミナー参加事業者、各種補助金申請者、金融相談者、創業・第二創業者、事業承継計画策定者のフォローアップを行った。ただし、事業者からの申し出等により、臨機応変に対応した。

なお、進捗状況が思わしくなく、事業計画との間にズレが生じている場合には、エキスパートバンク、外部専門家等の第三者の視点を投入し、当該ズレの発生要因及び今後の対応策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行った。

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①フォローアップ対象事業者数					
	・当該年度に計画策定した者	69者	71者	73者	75者	77者
	・前年度に計画策定した者	—	69者	71者	73者	75者

	②フォローアップ件数 ○当該年度に計画策定した者を対象とする件数 ・セミナー参加者へのフォローアップ件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者へのフォローアップ件数 ・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数 ・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数 ○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数） 小 計	10件 40件 15件 26件 3件 — 94件	10件 40件 15件 28件 3件 69件 165件	10件 40件 15件 30件 3件 71件 169件	10件 40件 15件 32件 3件 73件 173件	10件 40件 15件 34件 3件 75件 177件
	売上増加事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
	利益率3%以上増加の事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
結果	①フォローアップ対象事業者数 ・当該年度に計画策定した者 ・前年度に計画策定した者	72者 —	143者 72者	161者 143者	108者 161者	136者 108者
	②フォローアップ件数 ○当該年度に計画策定した者を対象とする件数 ・セミナー参加者へのフォローアップ件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者へのフォローアップ件数 ・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数 ・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数 ○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数） 小 計	5件 52件 2件 19件 3件 — 81件	8件 62件 2件 3件 0件 72件 147件	19件 51件 6件 82件 3件 143件 304件	13件 11件 5件 76件 3件 161件 269件	11件 52件 2件 68件 0件 108件 241件
	売上増加事業者数 ※令和8年6月30日現在	15者	26者	30者	28者	21者
	売上総利益率3%以上増加の事業者数 ※令和8年6月30日現在	15者	27者	31者	9者	19者

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 事業内容

①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展（B to B）

「りんご」や「カシス」などの地域資源などを取り扱う小規模事業者を対象に、域外への販路開拓のための各商談会、展示会への参加支援を行った。出展にあたり、FCP シートの作成や商談後の商品のブラッシュアップなどのフォローを行った。

(実施内容)

◇伊達な商談会（「JR 東日本東北総合サービス株式会社」との個別商談会）

日 程 令和7年10月20日（月）

場 所 仙台商工会議所

内 容 JR 東日本東北総合サービスが管轄している駅構内の販売所や道の駅、スーパーなどにおいて、自社製品の取扱いなどを交渉する商談会

参加者数 2 事業者 ○商談成立件数 2 件

◇OSAKA ビジネスフェア 2025

日 程 令和7年11月19日（水）

場 所 マイドームおおさか

内 容 優れた技術や魅力ある商品・サービス等を有し、前向きにチャレンジしている事業者に対して、自社をPRする機会と出展者間における情報交換の場等を提供する商談会

参加者数 2 事業者 ○商談成立件数 0 件（商談継続中）

◇ビジネスチャンス EXPO in TOKYO

日 程 令和7年11月26日(水)・27日(木)
場 所 東京ビッグサイト
内 容 独自の技術や珍しい商材を持つ都内企業が一堂に会し、その製品やサービスを来場者にPRすることで、新たな販路の開拓につなげることを目的とした総合展示会
参加者数 3事業者 ○商談成立件数0件(商談継続中)

◇伊達な商談会(「株式会社 JALUX」との個別商談会)

日 程 令和8年2月5日(木)
場 所 仙台商工会議所
内 容 JALUX 地域創生部が管轄している大丸松坂屋オンラインストアでの産直ギフト販売及びグルメカタログギフトにおいて、自社製品の取扱いなどを交渉する商談会
参加者数 1事業者 ○商談成立件数0件(商談継続中)

◇にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ

日 程 令和8年2月28日(土)・3月1日(日)
場 所 日本橋三井ホール、KANDA SQUARE ROOM、東京ミッドタウン八重洲
内 容 地方の原石を全国・世界レベルのヒット商品へ育てることを目指した大会
参加者数 5事業者 ○商談成立件数0件(商談継続中)

◇青函商工会議所パートナーシップ支援事業

日 程 令和8年3月4日(水) 14:30~18:00
場 所 ホテル青森
内 容 青森・函館商工会議所管内事業所同士による販路開拓や技術提携、新規ビジネス創出
参加者数 18事業者 ○商談成立件数0件(商談継続中)

②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施(B to C)

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小規模事業者(菓子製造小売店や食品加工事業者)の新規顧客獲得を目的に、展示販売会等への出店を支援した。出店にあたり、自社の認知度向上や商品のPR方法について事前に専門家による指導を受けたほか、必要があればその後の商品のブラッシュアップ等のフォローを行った。

【支 援 対 象】菓子製造小売業や食品加工事業等を営む小規模事業者

【支援の手段・方法】自社の認知度向上や商品のPR方法について事前に専門家による指導を受け、AOMORI STARTUP CENTER内で商品を販売した。

(実施内容)

◇AOMORI STARTUP CENTERを利用して創業した事業者や、青森商工会議所会員で新規店舗や新規メニュー開発を行っている飲食店の販路拡大を支援するため、期間限定での出店が可能なポップアップショップの貸出を行う事業を実施した。

支援内容 ポップアップショップの貸出、メニューチラシ、店舗紹介チラシの作成支援、作成したチラシを青森市役所駅前庁舎、青森商工会議所会館等へ配布。

AOMORI STARTUP CENTER の SNS 等で公開。

事業者数 2 事業者（カフェ酒場 SHIRENOKI（飲食業、ナポリタン、スイーツ等販売）、
Yabanhmi-ヤバインミー-（飲食業、バインミー・ソフトドリンク販売））

開催期間 令和 7 年 8 月 延べ 5 回

販売累計額 176,500 円 ○売上平均額 88,250 円／社

③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓（B to B）

これまで実施してきた青森商工会議所・函館商工会議所の会員事業所によるビジネスマッチング事業の実施が、新型コロナウイルス感染症の影響により難しくなったことから、Zoom 等を活用したオンライン上でのビジネスマッチング事業を令和 3 年度より実施しており、令和 7 年度においても継続した販路開拓支援を行った。

（実施内容）

◇地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル構築事業

日 程 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

場 所 オンライン

内 容 Zoom 等ビデオ会議サービスを活用したオンライン上でのビジネスマッチング。

参加者数 9 事業者（株式会社エイ・ワンド、小田桐錦石研究所、コノハト株式会社、株式会社三光物産、とうふ工房、株式会社はとや製菓、合同会社青森ふぁいん、テキスタイルスタジオ村上、有限会社ヤカタイーティング）
○商談成立件数 0 件

④ I T を活用した販路開拓支援の実施（B to C）

小規模事業者の中には、自社の WEB サイトの作成や SNS を通じた顧客との関係の構築、EC 展開などに関心があるもののいまだに整備の進んでいない事業者も少なくない。そこで、I T を活用した販路開拓の手法や、EC 展開を支援するセミナーを開催し販路開拓を支援した。また、セミナー終了後には、個別相談や巡回によりフォローアップを図った。

（実施内容）

◇事業に役立つ生成 AI 活用セミナー

日 程 令和 8 年 2 月 2 日（月）

場 所 青森商工会議所 7 階 研修室

講 師 平林 文晴 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）

受講者数 13 名

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目 標	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	3 社 1 件	3 社 1 件	5 社 1 件	5 社 1 件	5 社 1 件
	②食品を販売する事業者等を対象とした催事及び展示販売会への出展 ・出展者数 ・売上額／社	3 社 5 万円	3 社 5 万円	5 社 5 万円	5 社 5 万円	5 社 5 万円

	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	3社 3社	3社 3社	5社 5社	5社 5社	5社 5社
結果	①域外への販路拡大を目的とした展示 商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	4社 0件	8社 0件	27社 3件	22社 3件	31社 2件
	②食品を販売する事業者等を対象にした 催事及び展示販売会等への出店 ・出展者数 ・売上額/社	3社 11万円	7社 31万円	2社 27万円	2社 34万円	2社 9万円
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 0件	10社 2件	10社 0件	9社 0件	9社 0件
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	5社 3社	3社 1社	3社 1社	3社 1社	1社 1社

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(1) 事業内容

毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行うとともに、事業の見直しについては委員会内で検討し必要があれば事業内容を変更する。

【構成メンバー】青森市担当課長、税理士、中小企業診断士、当所専務理事

【開催頻度】1回/年

【評価・検証方法】・青森市、税理士、中小企業診断士等の外部有識者により事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う

・事業の成果・評価・見直しの結果については正副会頭に報告し、承認を受ける

・事業の成果・評価・見直しの結果を当所のホームページで計画期間中公表する

○令和8年6月30日（火）開催

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業内容

①「経営指導員等情報交換会」の開催

経営指導員等の支援ノウハウや小規模事業者の景気、需要、金融動向等の情報を交換する「経営指導員等情報交換会」を毎月開催した。開催にあたっては、これまで対象だった若手経営指導員に補助員や一般職員も加えた。

◇経営指導員等情報交換会 19回開催（マル経事前の回数）

金融担当課以外の経営指導員に加え今後経営指導を行う補助員や一般職員も交え、マル経審

査会への推薦案件の融資のポイントや今後の経営支援の方策等について情報共有を図った。

◇支援力向上に向けた「マル経融資勉強会」の開催

日本政策金融公庫融資課担当者を講師に招き、「マル経融資」推薦にあたり、小規模事業者の財務諸表から、経営課題を分析し、融資推薦書を作成するノウハウについて学ぶ研修会を開催した。

②組織内での支援ノウハウの共有

経営支援システムである「Biz ミル」等を活用することにより、個人に帰属することが多い支援ノウハウを蓄積し、組織内で共有することにより当所の支援能力の底上げを図った。

◇職員会議での各種補助金等の周知

毎月1回開催される職員会議において、補助金等の概要説明を行い、経営指導員を含む職員に情報共有した。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業内容

①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会（2回/年）

日本政策金融公庫青森支店と管内商工会議所が連携して、年2回の小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会を開催した。ここでは、管内経済動向や小規模事業者に対する金融、創業、経営支援の現状、課題、今後の取組みについての情報交換を行うことにより当地域における小規模事業者への支援及び地域振興に向けた支援力向上を図った。また、日本政策金融公庫青森支店担当者による毎月2回の金融相談窓口等により、金融専門家による融資手法等の支援ノウハウの習得を図った。

◇小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会 2回開催

第1回

日 程 令和7年7月10日（木）

場 所 ホテルニューグリーン（むつ市）

第2回

日 程 令和7年12月2日（火）

場 所 青森商工会議所 7階 会議室

◇金融相談窓口での対応

開催数 17回（4/3（木）、4/17（木）、5/1（木）、6/5（木）、7/3（木）、7/17（木）、
8/21（木）、9/4（木）、9/18（木）、10/2（木）、10/16（木）、12/4（木）、
12/18（木）、1/15（木）、1/29（木）、3/5（木）、3/19（木）

相談者数 36名

②その他支援機関との情報交換

青森県信用保証協会の「青森県中小企業支援ネットワーク会議（1回/年）」、青森県の「地域金融推進ワーキンググループ（3回/年）」等において、地元金融機関、他支援機関等による支援ノウハ

ウ、支援の現状、支援の課題等についての情報交換やよろず支援拠点の専門家との連携により、専門家による企業支援のノウハウ等の習得により支援力向上を図った。

◇令和7年度 青森県中小企業支援ネットワーク会議

日 程 令和7年10月30日（木）

場 所 アップルパレス青森

◇令和7年度 第1回地域金融推進ワーキンググループ

日 程 令和7年6月20日（金）

場 所 青森県庁

◇令和7年度 第2回地域金融推進ワーキンググループ

日 時 令和7年8月25日（月）

場 所 青森県庁

◇令和7年度 第3回地域金融推進ワーキンググループ

日 時 令和8年1月28日（水）

場 所 青森県庁

◇保証協会との情報交換会 随時開催

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

（1）事業内容

①国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業

コロナ禍後の観光客受入態勢を早急に整備し、定期航空路線を活用した国内旅行の促進や、関係行政・団体で構成するミッション団による経済界や企業に対して本県の地理的優位性を活かしたセールスとMICE誘致等に有効な情報提供を行い、交流人口の拡大、外貨を獲得するとともに、定期航空路線が開設されている韓国、中国、台湾及び、クルーズ船の寄港で訪れる多くの外国人観光客の受け入れ態勢整備へ向けた取り組みを行った。

（実施内容）

青森空港利用促進（青森空港国際化促進協議会への支援）

◇会議の開催

・ 定例総会

日 時 令和7年6月2日（月） 14：40

場 所 リンクステーションホール青森 4階 中会議室

議 案 ①令和6年度事業報告書並びに収支決算書について
②令和7年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

・ 事務局会議

日 時 令和7年5月2日（金） 13：30

場 所 青森商工会議所 5階 役員応接室

案 件 ①令和7年度青森空港国際化促進協議会定例総会付議案件について
②青森空港国際定期便（ソウル線・台北線） 令和7年9月までの定期便利

用促進対策について

日 時 令和7年7月3日(木)
場 所 書面開催
案 件 ①青森空港国際定期便(ソウル線・台北線) 10月以降における定期便利用促進対策について

日 時 令和7年10月7日(火)
場 所 書面開催
案 件 ①青森・ソウル線／台北線に係る取組実績及び取組予定について

日 時 令和8年1月20日(火)
場 所 書面開催
案 件 ①青森空港国際定期便(ソウル線・台北線) 令和8年4月以降における定期便利用促進対策(案)について

◇実施事業

- ・ 青森－ソウル定期便／青森－台北定期便 利用促進事業
旅行商品の造成
定期便利用促進広報の実施(テレビ、ラジオ、新聞、WEB広告等)
定期便利用閑散期対策事業の実施
広域利用促進事業の実施
- ・ 利用者に対するインセンティブ
パスポート助成金、早割60日前助成金、アンダー30助成金、グループ旅行助成金、人材育成助成金 他
- ・ 国際定期便機運醸成・記念事業
青森－ソウル線就航30周年記念セレモニーの開催
日 時：令和7年4月2日(木) 9:15
場 所：青森空港1階 国際線チェックインカウンター前
青森空港国際定期便増便記念セレモニーの開催
日 時：令和8年3月29日(日) 9:00
場 所：青森空港1階 国際線チェックインカウンター前 他
- ・ 国際定期便運航再開等支援事業
国際定期便運航経費の一部助成 他
- ・ 各種イベント参画・協賛

②ヘルスケア・ビジネス創造事業

地域観光事業者や地元大学と連携し、観光商品化の推進と県内企業の健康経営に資する福利厚生

プログラムを展開した。

(実施内容)

◇会 議

クア(健康)ガイド協会総会

日 時 令和7年4月10日(木) 11:00
場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1
参 加 者 19名

◇一般参加者を対象とするドイツ式健康ウォーキング

日 時 令和7年5月24日(土) 9:00~14:00
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)
参 加 者 22名

日 時 令和7年6月21日(土) 9:00~14:00
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)
参 加 者 54名

日 時 令和7年9月20日(土) 9:00~14:00
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)
参 加 者 20名

日 時 令和7年10月18日(土) 9:00~14:00
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)
参 加 者 32名

③中心市街地活性化事業

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進するため、中心市街地活性化協議会(事務局:青森商工会議所)及び四者連携(JR 東日本、青森県、青森市、青森商工会議所)等の取組により、中心市街地の活性化と回遊性向上を、民間主導の再開発事業や青森駅を中心とした一体的整備事業、広域的なソフト事業等を促進させることで市民はもとより来街者の流入を加速させる魅力あるまちづくりを進めた。

(実施内容)

中心市街地における、市街地整備事業(再開発事業等)の具現化を推進するために、当該地区権利者等によって検討されている活性化プロジェクトの実現に向けた取り組みについて支援した。

【青森市中心市街地活性化協議会の運営】

◇会議開催状況

・通常総会

日 時 令和7年6月19日(木) 11:00

場 所 青森商工会議所 7階 会議室
議 案 1) 令和6年度事業報告並びに収支決算について
2) 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
3) 任期満了に伴う役員改選について
4) 新入会員の承認について
5) 運営委員の選任について
説 明 「青森駅周辺のまちづくりについて」
青森市都市政策課 都市拠点・市街地整備室
室長 白 取 芳 樹 氏

・運営委員会

日 時 令和7年9月24日(水) 13:30
場 所 青森商工会議所 7階 会議室
案 件 1) 令和7年度まちなかウォークブル推進事業の進捗状況について
説 明 1) 令和7年度まちなかにぎわい創出プロジェクト業務について

◇「商業活性化」推進事業

流動人口増加並びに街区内での回遊性を向上させるためのソフト事業を実施した。

・まちなかレンタサイクル事業

実施期間 令和7年8月1日(金)～11月30日(日)
貸出場所 青森駅前自転車等駐車場(20台)
利用者数 913名(令和7年8月1日～11月30日/延べ122日)

・まちなかサポーターズ事業(しかへらあ～s)

実施期間 令和7年4月～令和8年3月
構 成 員 青森公立大学学生
活動内容 来街者に対する挨拶・清掃活動・各種まちなかイベントへの参画・支援

◇歩行者通行量調査等の実施

調査期間 令和7年1月～12月(通年/24時間)
調査方法 デジタル調査(スマホGPS・アプリデータ分析)
調査対象 日本人
調査地点 中心市街地60地点
属性分析 年齢層、性別、居住地 等
公開方法 オープンデータとして、同協議会HP上で公開

④株式会社まちづくり青森との連携

中心市街地の賑わい創出を目的に、当所の出資により設立した「株式会社まちづくり青森」は、中心市街地への出店を目指す新規起業者のチャレンジショップである「パサージュ広場」の運営を担い、当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」と連携し、チャレンジショップとして新たに起業する事業者の伴走型支援を行った。

(実施内容)

◇株式会社まちづくり青森への事業協力

都市の魅力づくりを総合的に推進し、中心市街地の活性化を実現するために株式会社まちづくり青森の運営と、さらなる活用方法の検討を行った。また、パサージュ広場における商業ベンチャー支援事業について、同社と共同で効果的な運営を行った。

◇商業ベンチャー支援業務の受託について

商業者の育成場所として店舗が整備されたパサージュ広場（青森市多目的交流広場）において、広場出店者の募集・選考や経営指導ならびに施設の運営管理を行う「青森市商業ベンチャー支援事業」を青森市より受託し、同広場内に事務所を構える(株)まちづくり青森や AOMORI STARTUP CENTER との連携を踏まえた経営指導や独立支援を行うことで、起業家への支援を実施した。

商業ベンチャー支援業務の受託期間

期 間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

商業ベンチャー支援業務の内容

運営方針の作成

「令和7年度 商業ベンチャー支援業務に係る運営方針」を作成

・出店者の状況について(令和7年3月31日時点)

区画	店舗名
A-1	HAPPY STANDARD
A-2	Wanna eat
A-3	ちょこっと
B-1	ビアレストラン UMIKAZE
C-1	お好み焼きバル TORORO
C-2	BEGIN
C-3	ねこ雑貨専門店 ねこオタ
C-4	晩酌 ya Bears Home
D-1	夢ちゃんラーメン

・パサージュ広場出店者協議会の開催について

出店建物内で営業する出店者で組織する出店者会議を毎月開催し、情報共有や経営支援を行った。

・支援施設の確保

商業ベンチャー支援業務の実施のため、支援施設を確保(賃借)し、管理を行った。

・広場内イルミネーションの設置及び撤去

点灯期間 令和7年12月12日(金)～令和8年2月28日(土)

⑤青森地域7大学等との連携事業

- ・青森地域産学連携懇談会の開催

当所は、青森地域5大学及び2短期大学（弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、青森明の星短期大学）と産学連携協定を締結している。

青森地域の大学の「知」を活かし、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的としており、地域産業の振興、地域活性化（中心市街地活性化等）、健康福祉の増進、人材育成に関する連携・協力を円滑に進めるための情報交換・共有の場として懇談会を開催した。（事務局：青森商工会議所）

（事業内容）

・青森地域産学連携懇談会「～コーヒー片手に未来を語る～「先パイ☺」かふえ」

青森商工会議所と地域5大学・2短期大学は、産学連携懇談会を通じて連携を推進しており、今年度は、市内大学生が主体となり、「若者が作る地域の人材定着とその先の未来を推し量るプロジェクト」として企画・運営を行い、若手社員のスピーチと意見交換を通じて、地元就職の選択肢拡大に向けたアイデア創発を図るワークショップを実施した。

日 時 令和7年11月28日（金） 17:00～18:30

場 所 青森中央学院大学1号館「+C」

参加者数 青森市内学生・短期大学生 15名

青森市内企業若手先輩社会人等 7名

（税理士法人 NAVIS、青い森信用金庫、（株）東奥日報社、青森市役所、青森県）

日 時 令和7年12月5日（金） 17:00～18:30

場 所 青森中央学院大学1号館「+C」

参加者数 青森市内学生・短期大学生 7名

青森市内企業若手先輩社会人等 8名

（倉橋建設（株）、（株）オカムラ食品工業、協同組合タッケン、青森トヨタ自動車（株）、青森県）

◇青森市産官学連携プラットフォーム事業への協力

・「AOMORI 未来創造ラボ」事業の運営

①「AOMORI 未来創造ラボ」トライアルプログラム

企業から2～3か月単位の課題解決型プロジェクトを募集し、青森市産官学連携プラットフォーム加盟各校の学生に公募・マッチングの上、各企業が提供するプロジェクトに学生が企業担当者と協働で取組んだ。

期 間 令和7年8月18日（月）～11月30日（日）

※事業延長を希望するプロジェクトがあり、12月10日迄延長

参 加 者 青森市内大学生23名（申込からマッチング間に辞退した2名を除く）

プロジェクト 9プロジェクト（9社）

1) Rethink Creator PROJECT 地域デザインファクトリー青森

- (協力企業：日本たばこ産業(株)青森支社)
- 2) このまちに暮らしたい!をカタチにするプロジェクト
(協力企業：フクシアンドフクシアーキテクツ(株))
 - 3) 学生目線で発信！アスパムの魅力発信プロジェクト
(協力企業：(公社)青森県観光国際交流機構)
 - 4) 地域に届く教育！オンライン塾の認知度向上プロジェクト
(協力企業：(株)エアプロ)
 - 5) 地元定着を考える学生と社会人によるトークイベントの企画・運営
(協力企業：東北財務局青森財務事務所)
 - 6) 豊かな青森県で豊かに生きる～高めよう金融リテラシー～
(協力企業：(株)青森みちのく銀行)
 - 7) エーアイサインって何の会社？ (協力企業：(株)エーアイサイン)
 - 8) 『企業と学生の距離感を縮める取組』の企画提案・運営
(協力企業：青森商工会議所)
 - 9) 「建設業のNEW魅力発掘プロジェクト」～建設業を目指す
若者を育成・採用していくには～(協力企業：丸喜(株)齊藤組)

②活動経過報告兼交流会

日 時 令和7年10月14日(火) 18:00～19:30
会 場 AOMORI STARTUP CENTER
出席者 41名

③成果報告会

日 時 令和7年12月13日(土) 13:00～15:00
会 場 AOMORI STARTUP CENTER
参加者 50名
表彰 審査員による審査項目ごとの定量審査で、点数が高かったチーム3チームをナイスチャレンジ賞として表彰。

□審査員：三 上 大 介 公益社団法人青森青年会議所理事長
佐々木 淳 吉 青森商工会議所青年部副会長
新 岡 進 也 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター
杉 山 歩 山梨県立大学副学長・山梨大学特任教授

□結 果：◇ベストナイスチャレンジ賞
・『企業と学生の距離感を縮める取組』の企画提案・運営
◇ナイスチャレンジ賞
・地元定着を考える学生と社会人によるトークイベントの企画・運営
・豊かな青森県で豊かに生きる～高めよう金融リテラシー～

⑥まちなかキャンパスの開催

青森地域産学連携懇談会事業として、大学の地域貢献の観点から、中心市街地活性化の一環として、街区内の公共施設等を会場に、各大学がそれぞれ一般・学生を対象とした公開講座「まちなかキャンパス」を開催した。

(実施内容)

◇青森中央学院大学

認定件数 5 講座

「青森中央学院大学まちなかキャンパス公開講座 2025」

◇青森大学

認定件数 26 講座

「青森KEN民塾例会兼櫛引研究室・まちなかゼミ」

「青森大学オープンカレッジ市民大学講座」

「あおもり新幹線研究連絡会・青森学術文化振興財団助成事業報告会」

「青森大学付属総合研究所特別講演」

⑦人財育成 雪花雪中塾の開講

本市の社会的課題の洗い出し、シーズの発掘や実証実験等を通じ、地域課題解決に資する新たなビジネスの創出に向けセミナー、ワークショップ等個者支援事業を行う雪花雪中塾を開講した。

(実施内容)

◇人財育成 雪花雪中塾の開講

参加者 36名

講師 中村陽一 人財育成雪花雪中塾 塾頭

山崎宇充 人財育成雪花雪中塾 講師・コーディネーター

カリキュラム

オリエン	令和7年	4月10日	オリエンテーション
オリエン	令和7年	5月16日	オリエンテーション
第1回	令和7年	6月5日	地域課題の肥大化とその処方箋 — 地域の未来を創るためにできること
第2回	令和7年	7月10日	地域の力を引き出す小さな取り組み — 行動が生み出す地域社会の変革 —
第3回	令和7年	8月21日	卒塾生の実践から学ぶ
第4回	令和7年	9月5日	弱体化する観光地をどのように育てていくか — 持続可能な価値創出の条件—
第5回	令和7年	10月22日	MOSPA あさむし共創プラットフォーム 浅虫温泉のこれまでの取組と今後の課題
第6回	令和7年	11月8日	人財育成雪花雪中塾フィールドワーク in 浅虫
第7回	令和7年	12月4日	浅虫温泉現地フィールドワークなどを通じた

リフレーミング思考の実践レポート作成・発表

第 8回	令和8年	1月16日	課題説明講義 Part 1
第 9回	令和8年	2月 6日	課題説明講義 Part 2
第10回	令和8年	3月 7日	課題発表・修了式

以 上